

## 平成18年度 第2回 文化財保護委員会会議録

■日 時：平成18年11月21日（火）午後7時00分から8時30分

■場 所：宮代町郷土資料館 会議室兼資料取扱室

出席者：島村委員、中村（誠）委員、新井委員、長谷川委員、中村（豊）委員 鈴木委員  
桐川教育長、中村室長、青木主幹、河井主査、秋場主任、横内主任

### 会議次第

- (1) 開会
- (2) あいさつ
- (3) その他

### 議題

- ① 指定文化財候補の検討について
- ② その他

### 会議概要

指定文化財候補等について、意見を出し合い検討した。

### 会議録

#### 開会

あいさつ（桐川教育長、島村委員長）

#### 議事

- (1) 指定文化財候補の検討について

島村委員長：開会いたします。

本日の議題は、指定文化財候補の検討ですが、7月21日の会議の際にも、ご検討いただきまして、これまでの文化財の候補のほかに、指定文化財候補をリストアップして調査を進め、文化財指定をしようという話がありました。現在調査をしている水塚、近代化遺産、指定候補について事務局から説明願います。

河井主査：まず、水塚につきましては現在把握しているのが、字中島で1箇所、字姫宮で2箇所、合わせて3箇所確認しています。近代化遺産関係では、県教育委員会が近代化遺産の調査を行い、宮代町として提出したものです。まず、東武鉄道の橋台で5箇所あり、備前前堀、備前堀、姥が谷落、姫宮落、笠原落にかけられているものです。いずれも、明治時代東武鉄道が開設されている時の煉瓦の橋台です。次に蒸気機関車ですが、2箇所あり、日本工業大学と役場の隣にあるものです。

次に、指定文化財候補案ですが、前回の委員会が出た話しをもとにまとめさ

せていただきました。和戸キリスト教会関係資料、前原遺跡出土石偶、東部地区でもっとも古い前原遺跡出土縄文時代草創期土器、江戸時代の大聖院大般若経、江戸時代から大正時代の姫宮神社の俳額3点、青蓮院の俳額1点です。五社神社の俳額については、前回の一覧に入れてありますので、ここでは略させていただきます。

島村委員長：事務局から候補案の説明がありましたが、なにか質問はございますか。

それでは、一つ一つ見て行きたいと思います。水塚について、他に情報をお持ちの委員さんいらっしゃいましたら。

まだ他に水塚はありますか。

河井主査：まだあると思います。

島村委員長：水塚は、現在、建物がのっているのですか。

河井主査：姫宮の1箇所は、建物がのっています。もう一箇所は、建物はのっているが、母屋も盛り土し、現況では、水塚の状態としては見えません。

島村委員長：盛り土してしまっているが、もともと水塚の跡だったということが分かるということですね。

河井主査：はい。

青木主幹：中島の水塚については、現在、母屋、物置と同じ高さになっています。逆に、水塚にあわせて水害対策のために母屋等が建てられています。

島村委員長：水塚の考え方が生きているということですね。

青木主幹：はい。

島村委員長：水と戦わなければならなかったという地域の特徴として位置付けられるかということで把握していただければと思います。水塚については、次の会議で報告いただくということによろしいですか。

各委員：了承

島村委員長：次に、近代化遺産についてですが、これについては県に報告したものというのですが、その後、前回の話を踏まえて他にあれば出していただきたいと思えます。

島村委員長：レンガのものが埼玉には多いが、宮代は他にはありませんか。堰杵とかも。

河井主査：現在のところ、他に確認されていません。

横内主任：ほかに農協の倉庫なども考えられ、農協さんにいつ頃の建築か、問い合わせをしている所です。

長谷川委員：農協の倉庫ですと、北埼玉の文化財担当者が調査を行って報告しています。それを参考にすると町内の調査もやりやすいと思います。

島村委員長：残っているのが多いので、地域の特徴ではあると思いますが、問い合わせの結果や北埼玉の事例がわかれば、次回のときに報告してください。

次に、いわゆる近代化遺産というのは、町内ではいかがでしょうか。

河井主査：石製の堰枠で、明治期のものが東条原に1基あります。

島村委員長：須賀村役場の門柱があるかと思いますが。

河井主査：和戸公民館の入り口にあります。

島村委員長：門柱は、石の門柱で、なにか彫ってありますか。

河井主査：何も無かったと思います。

島村委員長：百間小学校の昔の門柱はどうですか。

青木主幹：門柱は古いと思いますが。

島村委員長：いずれにしても、候補としてリストアップしておく必要があると思います。

離散しないようにするためにも。

島村委員長：遊具の古いのは。

教育長：遊具は、だんだん消えていきます。

島村委員長：忠魂碑も話題になっていました。

中村（豊）委員：忠魂碑についてですが、なかに「表」という文字がありますが、忠魂碑かどうか、どうでしょう。

島村委員長：表忠碑ではないでしょうか。須賀小学校ですね。

教育長：地域の方から何で半分埋まっているのか、おそらく戦争中に埋まったのではという話がありました。

中村（豊）委員：台座は知人に聞いたところ撤去したそうです。忠魂碑は現在と位置は変わらないということでした。そのままの状態であったということです。

島村委員長：当時の事情を知っている人はいますか。

中村（豊）：どうでしょうか。

それと、火の見やぐらの話しも出たので、いろいろ調べましたが、当時の火の見やぐらの写真があつて、その半鐘が現在消防署にあります。昭和58、59年ごろ撤去したということです。国納の墓地にも火の見やぐらがあります。

河井主査：何年ごろの写真ですか。

中村（豊）：わかりません。

島村委員長：貴重なものをありがとうございました。

百間小学校の裏にもあつたかと思いますが。

青木主幹：ありました。

中村（豊）：ちなみに火の見やぐらは、3本足のやぐらになっていました。

島村委員長：3本足のやぐらは、屋根のついた高いところに上れるものが東にもありました。

島村委員長：近代的な消防が出来た証拠ということで、近代化遺産としてみられるのかなと思います。その他、写真等情報がありましたらお願いします。

島村委員長：次に、これまでの指定候補とあわせて8点を挙げていただきましたが、何かご意見等がありましたらお願いいたします。

島村委員長：和戸キリスト教会関係は、すでに展示等行ってある程度わかっていますが、どんな関係の資料がありますか。

横内主任：信徒名簿、篠原大同の施療人名簿の2種類が文献として、歴史資料としては説教台と椅子が残されています。

島村委員長：今の場所に移ったのは昭和20年代位ですね。もともとあった場所は。

横内主任：御成街道の交差点付近です。

島村委員長：文化財候補について、前回お話しがありましたが、物として貴重で大切ですが、地域として特徴的なものをそれぞれ検討して今後調査の対象としながら見て行くのがいいのかなと思います。

和戸キリスト教会関係資料は対象を絞らなくても、指定の候補にしていいのではないかと思います。これについてよろしいですか。

各委員：了承

島村委員長：前原遺跡関係で補足説明がありますか。

青木主幹：この石偶が出ている遺跡は前原遺跡だけです。他に比較資料がないので、どういう位置付けをするかというのが難しいところです。

中村（誠）委員：土器は微隆起線文と表裏縄文ですね。これもこの地区としては古いものですか。

青木主幹：12,000年ほど前のものです。

島村委員長：この8点の土器はこの地区としてはかなり貴重なものですか。

青木主幹：はい。埼玉地区では草創期の土器はありません。

長谷川委員：春日部にも無いですし、他にも無いと思います。

中村（誠）委員：さいたま市内のえんぎ山遺跡で若干出土しています。そう出土するものではないですね。

長谷川委員：石偶の石材はわかっているのですか。

青木主幹：わかっています。

島村委員長：他に考古資料についてご質問、ご意見がありましたらどうぞ。

それでは、これらも候補案に入れるということでよろしいですか。

各委員：了承。

島村委員長：これから必要な調査を行うものですから、お気づきの点がありましたらよろしくお願いします。

島村委員長：次に大般若経ですが、これについて何かありましたらお願いします。

新井委員：全巻そろっていますか。

河井主任：わかりません。

島村委員長：刷り物で、特に奥書とかありますか。

横内主任：書いてあるのもあります。無いのがほとんどです。

新井委員：他家の文書とか寺院関係でそろっているものは。

横内主任：これだけそろっているのは、町内では聞いていません。

新井委員：実際見てみないとわかりませんね。

島村委員長：膨大な資料なのでここだけピンポイントで見るということも大切ではないか  
と思います。

新井委員：たとえば、真読とか判読、名前や理由等が書いてあるものが多い。

島村委員長：保存状態は。

横内主任：虫は食っていません。かなり大切に保管されているので、また時々虫干をして  
いるのと聞いています。

島村委員長：もともと大聖院にあったものですか。

横内主任：そうだと思いますが、履歴はわかりません。

新井委員：備考に村名や名前が書いてありますね。

島村委員長：これについては、本会は調査も可能な限り出来ますので、事務局で相談して  
いただいて調査を考えるということによろしいですね。

島村委員長：次に、この地域の特色である多少庵関係ですが、多少庵関係は文化財指定し  
ていますか。

河井主任：していません。

島村委員長：俳額の時期はいつですか。

青木主幹：文化、文政、明治、大正のものです。

島村委員長：一番古いのは。

青木主幹：姫宮神社の文化8年（1811）のものが最も古いものです。

島村委員長：五社神社のもの他4点で町内すべてですか。

青木主幹：現在確認されているものは、そうです。

島村委員長：これについてご意見をお願いいたします。

新井委員：句碑もありますね。句碑も含めて多少庵関係一括としてですか、それとも一点、  
一点ですか。

島村委員長：前の指定候補としては五社神社にある句碑と俳額ということで挙げてありま  
すので、どういうふうを考えるかですね。また、多少庵関係ということであれば本もありますが。

青木主幹；句集は新井家にはたくさん残っています。

島村委員長：写本もありますか。

青木主幹：はい。それと、刷り物や聯（れん）もあります。

新井委員：多少庵関係資料にどういうものがあるか、全部挙げておいて頂きたいと思いま  
す。その上で、指定の仕方をどうするかと言うことを考えてはどうかと思いま  
す。

島村委員長：多少庵関係資料2点を指定候補として挙げてあったものに、俳額4点を加え  
てということでしょうか。それと、今後、課題として多少庵関係のもの

をリストアップするということですね。

島村委員長：では、文化財候補について、和戸キリスト教会関係資料、前原遺跡出土石偶、前原遺跡出土縄文時代草創期土器については、指定候補に加える。大般若経については今後の調査を待って、多少庵の俳額については五社神社のもふくめて5点ということで候補一覧に加え、今後、検討、調査を行うということによろしいですか。

各委員：了承。

島村委員長：このほか、各委員さんから指定候補が何かありましたら出していただきたいと思います。いかがでしょうか。

長谷川委員：いくつか考えてきましたが、事務局の案の中にありました、草創期の土器を考えていました。

新井委員：近代化遺産の関係の橋台がでていますが、これは実測図等を取られていますか。

河井主査：取っていません。

新井委員：宮代町は東武鉄道の関係で見逃せないところです。ところで、役場の隣の広場にある蒸気機関車は町の所有ですか。

河井主査：町の所有です。

新井委員：近代化遺産という点で、東武鉄道関係のものでもありますし、指定するしないは別として、この機関車も挙げておいたほうがいいのではないのでしょうか。

島村委員長：いまそのようなご意見がございましたが、いかがですか。

新井委員：すぐにと言うことではありませんが、一応調べておいてはどうでしょうか。

河井主査：基本的にはあの蒸気機関車は、文化財としての展示物というよりは公園で実際に子どもたちに見て、触れていただくなどというようなコンセプトをもって移設したわけで、他の文化財とは同じようなことは無理かなとは思いますが。

新井委員：交通博物館とかでは、重要文化財ではあっても実際中にお客さんを入れ、乗せています。そういった形も近代化遺産や近代の文化財はあっていいと思います。指定のあと乗せないということではなくて、従前の形と変わらない使い方をする、けれども機関部分とか蒸気機関車として基本的な形を維持している部分については保存を図っていく、という考え方があっていいのかなと思います。

島村委員長：伊勢崎線を走っていたのですね。

青木主幹：はい。

島村委員長：この挙げられた意見をすぐ候補に入れるということではなく、今後の課題にして、調査を行い、可能性を探ってみるということで考えていくということによろしいですか。

各委員：了承。

島村委員長：他に何かありますか。

中村（豊）委員：旧家ですが、現在使われていますので、詳細に調査をすることが出来な

い状況です。外から見る程度で良いですね。

島村委員長：その程度でいいと思います。記録として残しておいて、何かのチャンスがあるかと思いますので。

中村（豊）委員：東条原に1軒あります。これは昭和30年代のころのものかと思いますが。

島村委員長：西条原にも平屋の近代の家がありますね。

河井主査：金原にもありますね。

新井委員：文化庁から全国的に近代化和風建築の調査を行うように来ていますので、いずれ行うこととなりますので、今からしておくといいいのではないかと思います。

島村委員長：洋風建築は無いのですが、和風建築はあるかと思いますが。リストアップしておけばいいのではないかと思います。

河井主査：出来たら委員さん方で地区割をして進めたほうが、調査も進むと思いますが、いかがでしょうか。

島村委員長：6人の委員さんで分ける。事務局の案は。

河井主査：中村（豊）委員さんは須賀地区、中央、川島付近だと鈴木委員さん、和戸、国納は中村（誠）委員さん、宮東、川端、姫宮、東、中地区では島村委員長さん、山崎、西原、金原、逆井が新井さん、東条原、西条原は長谷川さんで、いかがでしょうか。

各委員：了承

河井主査：合わせて、近代化遺産、水塚も含めてお願いできればと思います。

河井主査：写真だけでもとっていただければと思います。基礎データの集積が重要ではないかと思いますが。

島村委員長：白地図があればいいと思いますが。

河井主査：お送りします。

島村委員長：他に、お堂も調査できたらいいと思います。

島村委員長：その他、何かありましたら注意してみてください。

島村委員長：次に、その他ですが、事務局から何かありますか。

河井主査：特別展「笠原沼と笠原沼代用水」について説明する。

金原関根氏宅で発見された岩槻城絵図、下の谷新田絵図について説明する。

特に、岩槻城絵図は江戸時代中期のものとしては新発見のものである旨、説明する。

新井委員：県の文書館で行政文書の展示を行っていますので、ぜひ見学してください。

青木主幹：資料館の情報誌「えんがわ」について説明する。

島村委員長：以上で第2回文化財保護委員会を閉会いたします。